事業名
 国際交流事業

 事業実施期間
 平成
 19
 年度
 ~
 令和
 年度

	((0) 1/
作成日	令和2年10月8日
担当部課	観光商工部 観光物産課
課長名	柴崎 孝光
担当班	観光資源活用班

総合計画における位置づけ 事業コード(02060403)	予算科目 予算コード(01020106)
基本方針 産業と交流	会計 一般会計
<mark>政 策 </mark> 観光・交流	款。総務費
施 策 多様な交流の実現	項。総務管理費
具体的な取り組み国内・国際交流の推進	目 企画費

	事業の対象 (何を、誰を)	事業の意図(目的) (どういう状態にしたいのか)
	市内中学生及び市民団体	中学生交流事業を行うことにより、国際性豊かな人材の育成に資する。観 光物産や農業・文化・スポーツ等各分野において市民団体交流を行うこと
1	WHIT I TO WARF	により、国際化に対応したまちづくりを推進する。
_	事業内容(令和 元 年度)(事業の意図を実現するた	めに何を行うのか) 令和 2 年度の変更点
事業	•中学生交流事業	変更なし
まの	•市民団体交流事業	
目		
的		
•		
内		
容		
	実施方法 🔽 直営 🗌 補助 🔲 委託	□その他

			<i></i>			9J -	_ XII	_ ("																
					全体計	画	平成	29	年度	平成	30	年度	令和	元	年度	令和	2	年度						
١,	, 1	事業費 (千円)									4,070			3,838			3,711			4,125				
2	-		F	国庫支出金																				
=	Þ		財源	県支出金																				
III.	F E		源内	地方債																				
0			訳	その他							1,873			1,835			1,835			1,835				
=			ᇝ	一般財源							2,117			2,003			1,876			2,290				
15	Z	人作	費		(千円)						4,366			4,336			4,377			4,362				
			積	従事職員数	(.	人)	_				0.7			0.7			0.7			0.7				
			算	職員給単価	(千)	円)	_				6,237			6,194			6,253			6,232				
	1	合計	†		(千円)					8,436			8,174			8,088			8,487					
Ξ							1																	
		活動指標(事業内容や事業量) 単位					(最終)令和	年度	平成	29	年度	平成	30	年度	令和	元	年度	令和	2	年度				
			指		目標 a						2			2			2			2				
	- 3	活材	標	標	標	標	標	交流回数	実績 b						1			1			1			
	į	動	名		達成率 b/a	%	#DIV/0)!			50.0			50.0			50.0							
		ᄩ						(-	ᄾᇷ	=	年 座 /	ZП	一年,辛口	计计记	1									

		/11 =]指標(事業内容や	尹未里/	単位	(最終)令和	牛因	半成 2	9 平皮	半队	30 平皮	予州 フ	6 平皮	节和	2	年
		指		目標 a					2		2		2			2
	活	標	交流回数	実績 b					1		1		1			
	動	名		達成率 b/a	%	#DIV/0!			50.0		50.0		50.0			
	指		(目標値の根拠や	算定方法)				(令:	和元	年度σ	目標達成	戈状 況)				
	標 ①	説明		平成26年度	きの数値	Ī					·8月に開 ・ウイルス		の関係に	こよりロ	吐。	
3		指		目標 a												
	活	標		実績 b												
事業	活動	名		達成率 b/a	%	#DIV/0!			V/0!		IV/0!	#DI\	V/0!			
業	指		(目標値の根拠や	算定方法)				(令	和元	年度の)目標達原	戈状 況)				
目標	標	説														
標及		明														
びび	<u> </u>	<u> </u>														
目			標(事業の意図の	達成水準)	単位	(最終)令和	年度	平成 2	9 年度	平成	30 年度	令和う	〒 年度	令和	2	年度
標達成	Į	指		目標 a	回/年				2		2		2			2
達									4		- 1		- 1			
	成		交流回数	実績 b	回/年				ı		ı		ı			
	八果			達成率 b/a		#DIV/0!			50.0		50.0		50.0			
の	指	名	交流回数 (目標値の根拠や)	達成率 b/a		#DIV/0!		(令:		年度の	50.0)目標達原		50.0			
の状	指標	名説	(目標値の根拠や	<mark>達成率 b/a</mark> 算定方法)	%			,	和元)目標達成		50.0			
の	指標	名	(目標値の根拠や	達成率 b/a	%			中学生	和 元 交流事業	業を7~		催。		<u> </u>	业。	
の状	指標	名説明	(目標値の根拠や	<mark>達成率 b/a</mark> 算定方法) 平成26年度	%			中学生	和 元 交流事業	業を7~)目標達成	催。		<u> </u>	址。	
の状	指標①	名 説明 指	(目標値の根拠や	達成率 b/a 算定方法) 平成26年度 目標 a	%			中学生	和 元 交流事業	業を7~)目標達成	催。		<u> </u>	中止。	,
の状	指標①	名 説明 指標	(目標値の根拠や	達成率 b/a 算定方法) 平成26年度 目標 a 実績 b	%	Ī		中学生民間交	和 元 交流事業 流は新型	業を7~ 型コロナ)目標達成 8月に開 ウイルス	催。 感染症	の関係に	<u> </u>	□ 止。	
の状	指標① 成果	名 説明 指	(目標値の根拠や	達成率 b/a 算定方法) 平成26年的 目標 a 実績 b 達成率 b/a	%			中学生 民間交	和 元 交流事業 流は新型 V/0!	削を7~ ピコロナ #D)目標達成 ·8月に開 ·ウイルス IV/0!	催。 感染症 #DI	の関係に	<u> </u>	北。	
の状	指標① 成果指	名 説明 指標名	(目標値の根拠や	達成率 b/a 算定方法) 平成26年的 目標 a 実績 b 達成率 b/a	%	Ī		中学生民間交	和 元 交流事業 流は新型 V/0!	削を7~ ピコロナ #D)目標達成 8月に開 ウイルス	催。 感染症 #DI	の関係に	<u> </u>	₽止。	
の状	指標① 成果指	名 説明 指標	(目標値の根拠や	達成率 b/a 算定方法) 平成26年的 目標 a 実績 b 達成率 b/a	%	Ī		中学生 民間交	和 元 交流事業 流は新型 V/0!	削を7~ ピコロナ #D)目標達成 ·8月に開 ·ウイルス IV/0!	催。 感染症 #DI	の関係に	<u> </u>	北。	

哥	業	名	国際交流事業]							
			視点	評	価			锐	明			
	必要	1	当初目的の達成や事業を取り巻く社会経済情勢等の変化により、 事業の必要性が薄れていないか	薄れている ◆ 1 □ 2 ▼ 3 『	いない → 4 □ 5 □		目的で グロ・	であるが、現る 一バル人材育	在、中学 育成がメ	野において市民 生の交流事業と インとなっている		
4 事業の評価(事業担当課	性	2	民間(公的団体やNPO含む)に 移管・委譲することが適当(可能) ではないか	適当 【 1 □ 2 □ 3 □	不適当 → 4 □ 5 ▼	韓国求礼郡とはら、移管はできな			味都市協	定であることか		
	効率性	3	コスト(費用や業務量)に見合う、 活動結果(事業量)が得られてい るか	得られていない ◆ 1 □ 2 ▼ 3 「		思うが、民間の	のグローバル人材育成の観点では、効果はあ 、民間の交流は停滞しており、本来の交流及び 得に繋がっていない状況である。					
		4	同じコストでより大きな活動結果 (または、より少ないコストで必要 な活動結果)が得られる手法が 考えられないか(事業の進め方)	考えられる ◆ 1 □ 2 □ 3 『	5れない → 4 ▼ 5 □	での意識、意名	5民の確保にコストがかか 意欲が高まれば同コストで 会情勢等もあり、難しいと					
		⑤	民間(公的団体やNPO含む)との協働(共催、委託、補助等)を進め、より効率的に実施できないか	できる ◆ 1 □ 2 ▼ 3 「	できない → 4 □ 5 □	国際交流事業に 教育団体等があ	交流団体や社会 考える。					
	有効性 公平性	6	目的(成果指標)を達成するため、有効な事業内容となっているか	なっていない ◆ 1 □ 2 ▼ 3 「	いる → 4 □ 5 □	中学生交流及び 見が広がること 間交流等は効り	が目	的の一つでも				
		7	同じコストでより大きな成果(または、より少ないコストで必要な成果)が得られる手法が考えられないか(事業内容)	考えられる ◆ 1 □ 2 □ 3 □			移動に伴う経費の削減は難しい。Web会議 られるが、交流の効果が薄くなると思われる					
		8	受益者負担を見直す余地はないか(負担を課すべきではないか、 負担水準を見直すべきではないか)	余地はある ◆ 1 □ 2 □ 3 □	ない → 4 □ 5 ☑	現在も受益者負担を課しており、負担水準は市が3分 2以内を負担しているため、見直す考えはない。 また、見直すことにより参加者確保に苦慮する。						
								現在、国際	交流は韓	国(求礼郡)を軸		
	事		□ 拡充 □ 改善 □ 現状維持	☑ 縮小	□ 廃止	□ 終了		以外の国とは	はあまり交	こいる。他方、韓国 流はできていな アイルス感染症の		
5 事業	業担当課(一次評価)	今 韓国 止:	明) ・般の国際化社会において、国際交 国求礼郡との中学生交流事業につら らやむを得ないと考える。市民団体 なしたい。	いては、実施其	明間の調整が固	困難であり、廃	財政課意見	流行により、、 もほぼストップ 国際交流に 育成は大切っ これまでの韓 の成果を分析 代に対応する 素し、加えて、	、人して経三し、 大のないので、 人してるるで、 国し、 大田のので、 また国ので、 また国ので、 また 以が、 事業の が、 事業の が、 また ないがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	かを伴う国際交流 状況の振りは変わのに変わる人材い。 に変わりは際交のをとしたコリけない。 といいはいてのでない。 といいのでのででいる。 はいのでででは、 はいのででは、 はいのででは、 はいのででは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいいでは、 はいのでは、 はいいでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいでは、 はいのでは、 はいでは、 はいのでは、 はいでは、 もいでは、 はいでは、 はいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。		
業の方								(事業の力	5向性)	改善		
の向性	行政評		□ 拡充	見状維持	□ 縮小	□ 廃止		終了				
12	計価会議(二次評価	郥	明) 政課の意見のとおり、Withコロナの ン、事業の抜本的な再構築を図るこ		トる新たな国際	₹交流の在り方を	·模索	をし、韓国以外	とも交流	で視野に入れ		